

(様式第2号)

会 議 録

令和3年3月1日作成

会 議 の 名 称	島本町建設事業再評価委員会		
会 議 の 開 催 日 時	令和3年2月22日(月) 14時00分～15時00分		
会 議 の 開 催 場 所	島本町役場3階 委員会室		
公 開 の 可 否	<input checked="" type="checkbox"/> 可・一部不可・不可	傍聴者数	0人
非公開の理由(非公開(会議の一部非公開を含む。)の場合)			
出 席 委 員 員	北岡委員、小山委員、八田委員 松中委員、山内委員 【事務局】 山田町長 都市創造部 名越部長、佐藤次長、橋本課長 滝沢係長、鋤柄 【事業担当課】 上下水道部 水木部長、梅若課長、坂本係長		
会 議 の 議 題	(1) 委員長・職務代理の選出 (2) 会議の公開 (3) 社会資本整備総合交付金を活用した事業の評価について		
審 議 等 の 内 容	別紙のとおり		
配 布 資 料	別紙のとおり		

島本町建設事業再評価委員会 要点録

日 時 令和3年2月22日（月）
午後2時から午後3時まで
場 所 島本町役場 3階 委員会室

【出席者】

（委 員）北岡委員、小山委員、八田委員、松中委員、山内委員
（担当部局）上下水道部工務課：水木部長、梅若課長、坂本係長
（事務局）都市創造部都市整備課：名越部長、佐藤次長、橋本課長、滝沢係長、鋤柄主査

【会 議】

1. 開催報告

当委員会は、島本町建設事業再評価委員会規則第5条第2項の規定により、委員の2分の1以上が出席（5名のうち5名が出席）しているため、成立していることを報告します。本日の委員会におきましては、新型コロナウイルス感染症対策として換気の時間をもうけさせていただくため、45分毎に5分間の休憩時間を設定させていただきます。

2. 町長挨拶

3. 委員長・職務代理の選出

委員長の選出について、事務局から委員に凶りましたところ、事務局案を求める声があったため事務局から山内委員を推薦し、承認いただきました。

職務代理については、山内委員から松中委員を指名いただき承認いただきました。

4. 会議の公開

会議の公開につきましては、本日傍聴の申し出がありませんので、このまま議事を進行させていただきます。

5. 議事

(1) 社会資本整備総合交付金を活用した事業の評価について

工務課 事業概要について説明

委 員 雨水整備について、計画降雨強度が48.4mm/hとありますが、昨今の国内の豪雨災害等を考えると島本町ではどの程度の最高降雨量を想定されて防災計画を立てておられ、それが当該整備計画にどのように反映されているのでしょうか。

もうひとつお尋ねしたいのは、ポンプというものはディーゼルもあると思いますが、制御盤等は電気設備であると記載されています。当然自家発電といった設備も備えておられると思うのですが、万が一停電等といった事態が生じたときにはどの程度の時間自家発電がもつのでしょうか。

工務課 計画降雨強度についてですが、ご指摘のとおり既往の降雨量でいいますと、本町では111mm/h降ったことがございますが、下水の計画につきましては下流域の大阪府が整備した雨水幹線や排水ポンプ場の降雨強度に合わせて48.4mm/hとしております。

自家発電設備の停電後の稼働時間につきましては、自家発電装置がありまして、タンクを用意しております。雨水を排水する場合は一定の量が降らないとポンプが稼働しません。降雨の状況によってはポンプを動かさなくても、自然流下で排水できることもありますので、具体的に連続して運転することが想定できていない部分もありますので、一概に何時間ということは申し上げられないのが現状でございます。ただ一定の降雨に備えるためのタンク等は完備しておりますので、数時間から数十時間は運転可能でございます。また必要に応じてガソリンスタンド等から、給油をしていただいて連続した運転が確保できる協定等を締結させていただいておりますのでご安心していただけるものと考えております。

委員 山崎ポンプ場の改築についてですが、計画の財源に対して65%弱の執行であり、それに対して、改築数が42に対して11しかできていないとのことですが、計画の財源の残額で、残りの改築は可能なのでしょうか。

工務課 ご指摘の通り残った施設につきましては今後改築する必要がございます。残っている改築を要する施設は主に照明設備等の付帯設備がメインになっており、そちらにつきましては、今年度策定を予定しております、下水道施設ストックマネジメント計画において老朽化対策をしていこうと考えております。当該計画を立てることによって、別のメニューでの交付金確保ができるものと考えておりますので、そちらの方で進捗していきたいと考えております。

委員 雨水整備事業について質問させていただきます。こちらの事業は、ポンプ場の改築が当初の予定通りではなく、約4分の1の整備終わったところで、公共下水道五反田雨水幹線整備事業に財源を充当するために、中断をされているとのことですが、それは平成29年以降ということだと思います。公共下水道五反田雨水幹線整備の方はまだ継続して事業実施されているということですが、こちらの方について事業の完了時期等の計画等があれば教えていただきたいと思っております。

工務課 公共下水道五反田雨水幹線の整備の目途につきましては、令和2年度までの事業として、現在、事業進捗を図っております。

委員 水洗化状況についてお聞きします。下水道の水洗化状況で、ここ数年、普及率が上がってないよう見受けられます。前回、平成26年までの評価に対して0.4%ほどしか普及率が上がっておりませんが、普及率が上がらないのは何か事情があるのでしょうか。また、地域的に何か問題点があるのでしょうか。

工務課 整備率がなかなか上がらないというご指摘についてですが、島本町におきまして、汚水整備につきましては終局に近いような状況でございます。これまでは、管渠整備を実施することによって多くの人口の汚水整備に寄与できる地区において事業を実施してきました。しかし最後に残っている地域につきましては、管渠整備に見合う人口が少ない地区となり、当該整備計画内では高浜地区の汚水整備を行いました。やはり水無瀬駅の駅前といった人口密集地と比べて、数字で比較した際には整備率が上がってこないということが原因であると考えております。今後につきましては、桜井地区を中心に整備を進めていく予定をしておりますので、そのなかで多くの方に下水道普及していくことができるのではと考えております。

委員 汚水整備についてお伺いします。汚水整備について、資料1-1に記載のとおり水無瀬川の河川管理者である大阪府との協議が整わなかったため管渠整備ができていないことですが、その後大阪府との協議はどのようなようになっておられますでしょうか。

工務課 大阪府とのその後の協議についてですが、整備進捗を図れるよう現在も協議を進めております。

委員 大阪府との協議において、何が障害となっているのでしょうか。

工務課 大阪府が懸念しておりますのが、管渠を埋設する箇所が、水無瀬川の堤防敷となっており、堤防敷を掘削するという点、また下水管については地面から深い位置に埋設しますのでその掘削について慎重になられておられるという認識でございます。

委員長 委員の皆様より様々なご意見を頂戴いたしましたので、それらを踏まえて今後事業を進めていただきたいと思います。評価シートにつきましては、提案通りということによろしいでしょうか。

委員 異議なし

委員長 ないようでしたら、以上を持ちまして、本日の議事はすべて終了とさせていただきます。